

有限会社首里琉染

沖縄県那覇市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

繊細な感性と技、伝統を育む。オリジナルブランド「KANA SANGO」で世界で一つだけの思い出の贈り物を

- 新しい技法を用いて、デザイン性の向上、コストの低減により付加価値を高め、新しい市場・顧客層を開拓
- 外国人観光客に対応した言語研修やデザイン教育等の人材育成、新市場開拓による安定した女性雇用の確保
- 沖縄の持つ色と質感を感じさせる独自のデザイン性は、高付加価値と汎用性を両立している

企業基本情報

| | |
|--------|------------------------------|
| 所在地 | 沖縄県那覇市首里山川町1-54 |
| 電話/FAX | 098-886-1131/098-887-3125 |
| URL | http://www.shuri-ryusen.com/ |
| 代表者 | 代表取締役 大城 裕美 |
| 設立 | 2002年 |
| 資本金 | 500万円 |
| 従業員数 | 9人 |



会社概要

「首里琉染は沖縄の伝統を守り、幸せを運ぶモノづくりを通して、人と人のご縁をつないでいきます」を会社理念としている。沖縄の伝統工芸・紅型の感性と技をはぐくむ店として、伝統技術を発展させ、色と素材感で夢のある生活雑貨や装飾品を展開している。ここ数年は、独自保有デザインであるサンゴ染を新たにデザインし、森のサンゴ・月のサンゴ・花のサンゴの3つのカテゴリーに分類し新ブランド「カナサンゴ」に挑戦している。



本店 3F 染め工房

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

日常装飾雑貨、日常生活雑貨や衣料品への展開

沖縄独自の色や質感を持つ紅型製品は、手作りの良さを活かすには多くの手間暇がかかる。結果として高価な工芸品という品物となり日常生活から遊離してしまいがちとなる。一部プリント加工を施し、新たなデザイン性を付加して、おしゃれ生活雑貨として甦らせ、普及を図っていく。またサンゴには子孫繁栄や幸せに直結するストーリーが昔から存在していて、シンプルなサンゴ染めデザインは、ビッグブランドになる潜在力を秘めている。



社内ミーティング風景

外国語・社内研修を行い、接客に必要な人材育成に力を入れる

本店近郊には、県立芸大や、県内で唯一染色を学べる高校があり、デザイナーの卵である彼らと交流して人材の確保・育成に力を入れている。沖縄伝統技術の継承と日常生活用品への展開は、沖縄において多くの雇用、特に女性の雇用を引き出そうと考えている。そして何より、外国人観光客を含む日々来店する顧客との会話を通して、より感動を与えられる商品作りに努め、作り手としての心得が浸透している会社を目指している。



デザイナーの卵との交流

デザインモチーフを独占保有しており、各分野への展開が可能

例えば、トイレットリー雑貨、学習用品、など、沖縄の持つ色と質感を感じる独自のデザイン性は、いろいろな分野に拡げていくことが可能であり可能性は極めて大きい。まず、現状の販売チャンネルにある顧客（観光客及び地元の贈答需要）に合致する製品展開から始めている。ギフト需要も多いので、3,000円、5,000円を軸に、大量オーダーに即応できるように開発している。



オリジナルブランド「KANA SANGO」のバッグ